

FP保険通信

NO61 2023.10発行

大腸がんの増加



大腸がんは男女ともに罹患される方が多いがんとされ、**高脂肪食や喫煙、アルコールなどが原因の一つ**と考えられています。40歳以降に増えはじめ、高齢になるほど罹患のリスクが高くなる傾向があります。

症状として、急に**下痢や便秘になる・便が細くなる・血便・疲れやすい・食欲がない・胸や胃のあたりがむかむかする**などの変化があり、このような自覚症状がある場合には早めに病院へ受診していただく事をおすすめします。早期に発見された場合は、内視鏡での切除だけで済む事が多くなっていますが、進行していた場合には、切除後に放射線や抗がん剤治療が続く事になります。

大腸の検査は抵抗がある方が多いと思われるので、**尿でがんリスクが判定**できるN-NOSEや、**唾液**でわかるSalivaCheckerなどを活用して調べる事も一つの方法としてお考えいただければと思います。



乳がんセルフチェック

現在、女性が最も罹患しやすいがんが乳がんです。

しこりとして触れる事が可能になるのは5mmから1cmくらいの大きさ



からと言われておりますので、日々のセルフチェックで早期発見がしやすいがんの一つです。

乳がんはリンパに近い場所にできる事もあり、手術で切除後にも多くの方は**継続したホルモン治療が行われる**事となります。

治療の長期化によって経済的負担が大きくなり、保険の重要性が増すと考えられます。

今は**乳房再建術**を受けられる方もたくさんおられ、保障の中には再建術をカバー出来るものや通院治療でも保障がしっかりできるものもありますので、ご自身の今の保険で足りない部分がないのか等、チェックが大切だと思われます。

一生涯で**50%を超える方ががんに罹患**する時代です。お金の不安を払拭して、治療に専念できる状況を作るために、あんしん出来る保険が必要だと感じますので、今後も多くの情報を提供できるように努めていきたいと思っております。

また**過去にがんに罹患された方がご加入いただける保険**も増えてきています。個々の状況にもよりますので、保険をあきらめず是非一度ご相談ください。



進化する薬物療法



薬物療法の代表的なものが抗がん剤やホルモン剤を使う治療方法で、がん治療の初期から後半までさまざまな場面で使われています。

点滴だけではなく、最近**飲むタイプの経口投与**も多くなってきました。以前に加入されていたがん保険には経口投与が対象になっていないために請求が出来ないという場合もあります。

「抗がん剤特約が付いていて安心！」ではなく、ご自身の契約はどこまでの保障があるかを知っておく事が大切です。

また、最近さらに多くなってきているのが日本での承認がされていない**未承認薬**です。公的医療保険の対象外となってしまう全額自己負担となるため、一か月の薬剤費は100万円を超えるものも多く中には1,000万円を超えるものもあります。最新の保険にはこれらを保障出来るものが販売されていますので、ご興味がある方は、一度ご相談ください。

FP保険の相談所

垂水駅前店 078-862-8451 西神戸店 078-921-7701

営業時間：10：00～17：00 営業時間：9：30～17：30

営業日：月・火・木・金・土 営業日：月～金

ホームページ：右のQRコードから または

ライフプロモーション神戸 で検索

＜取扱保険会社＞ メットライフ生命 アフラック

オリックス生命 三井住友海上あいおい生命

FWD生命 ジブラルタ生命 アクサ生命

東京海上日動あんしん生命 SOMPOひまわり生命

NN生命 三井住友海上火災 ソニー損保

